

## 助成金等公募情報

## 平成28年度補正「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」公募中

全国中小企業団体中央会

国際的な経済社会情勢の変化に対応し、足腰の強い経済を構築するため、経営力向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための中小企業・小規模事業者の設備投資等の一部を支援します。

■対象要件：山梨県内に本社及び実施場所を有する中小企業者に限ります。

※詳しくは公募要領をご確認下さい。

■対象事業：【革新的サービス】、【ものづくり技術】の2つの対象類型があります。また、それぞれについて「第四次産業革命型」「一般型」「小規模型（設備投資のみ、試作開発等）」の事業類型があります。

■公募期間：平成28年11月14日～平成29年1月17日  
採択公表は平成29年3月中を目処に行う予定です。

■応募申請書提出先：

【山梨県地域事務局】山梨県中小企業団体中央会

■公募要領

[http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/wp-content/uploads/2016/12/28mono\\_koboyoryo\\_ver\\_2-1.pdf](http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/wp-content/uploads/2016/12/28mono_koboyoryo_ver_2-1.pdf)

| 対象類型<br>事業類型 | 【革新的サービス】                                                                                                                                                | 【ものづくり技術】                            |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 第四次産業革命型     | ・補助上限額：3,000万円<br>・補助率：2/3以内<br>・設備投資 <sup>※3</sup> ：必要<br>・補助対象経費 <sup>※4</sup> ：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費                                                  |                                      |
| 一般型          | ・補助上限額：1,000万円<br>・補助率：2/3以内<br>・設備投資 <sup>※3</sup> ：必要<br>・補助対象経費 <sup>※4</sup> ：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費                                                  | ※ 雇用増（維持）をし、5%以上の賃金引上げについては、補助上限を倍増  |
| 小規模型         | 設備投資のみ<br>・補助上限額：500万円<br>・補助率：2/3以内<br>・設備投資 <sup>※3</sup> ：必要<br>・補助対象経費 <sup>※4</sup> ：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費                                          | ※ 最低賃金引上げの影響を受ける場合については、補助上限をさらに1.5倍 |
|              | 試作開発等<br>・補助上限額：500万円<br>・補助率：2/3以内<br>・設備投資 <sup>※3</sup> ：可能（必須ではない）<br>・補助対象経費 <sup>※4</sup> ：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費、原材料費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、クラウド利用費 | （14～15ページ「7. 補助上限額等」を参照）             |

## 平成28年度第2次補正予算「小規模事業者持続化補助金」（一般型）公募中

全日本商工会議所

経営計画に基づいて実施する販路開拓等の取り組みに対し、原則50万円を上限に補助金（補助率2/3）が出ます。

・計画の作成や販路開拓の実施の際、商工会議所の指導・助言を受けられます。

・小規模事業者が対象です。

・申請にあたっては、最寄りの商工会議所へ事業支援計画書の作成・交付を依頼する必要があります。依頼はお早めをお願いします。

■公募期間：平成28年11月4日～平成29年1月27日

■公募概要：<http://h28.jizokukahojokin.info/>

## 今後のイベント情報

## 農商工連携マッチングフェア

中小企業者や農林漁業者等が開発した商品等の商談や販路開拓、取組みの紹介を致します。

日 時：平成29年1月25日(水) 13:30～17:00  
場 所：甲府富士屋ホテル1階グランドホール〈昇仙閣〉  
主 催：山梨県商工会連合会、県下各商工会

テクノプラザおかや ものづくりフェア2017  
岡谷市企業の高度芳情化・最先端技術を集約し発信

日 時：平成29年2月3日(金)～4日(土)  
場 所：ララオカヤ 2階特設会場  
主 催：テクノプラザおかやものづくりフェア2017実行委員会

スマートエネルギーWeek 2017 内  
FC EXPO 2017  
第13回 国際 水素・燃料電池展

水素・燃料電池の研究開発、製造に必要なあらゆる技術、部品・材料、装置、および燃料電池システムが一堂に出席する国際商談展です。

日 時：平成29年3月1日(水)～3日(金)  
場 所：東京ビッグサイト  
主 催：リード エグジビション ジャパン(株)

【発行 2016年12月22日】



国立大学法人 山梨大学  
研究推進・社会連携機構  
新技術情報クラブ事務局  
〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37  
TEL: 055-220-8754 FAX: 055-220-8757  
E-mail: renkei-as@yamanashi.ac.jp  
URL: <http://www.scrs.yamanashi.ac.jp/>

## 大学TOPICS

## ノーベル賞受賞者の白川英樹 筑波大学名誉教授らが来学

平成28年11月29日(火)、平成12年にノーベル化学賞を受賞した白川英樹 筑波大学名誉教授や功刀能文 山梨科学アカデミー常務理事が来学されました。島田眞路学長から本学の概要説明と意見交換を行い、白川名誉教授は寛政8年(1796年)設立「徹典館」から始まる本学の歴史について関心を示され、特色ある教育・研究に期待を寄せました。白川名誉教授は現在、小学生等への実験教室やアジアの若者との交流事業など人材育成に尽力されていることを述べ、高等教育を担う大学が果たす役割の重要性や国立大学に対する国の支援の必要性を強調されました。また、ワイン科学研究センターを視察し、奥田 徹 同センター長から教育プログラムや企業・地域との連携等取組の説明を受け、白川名誉教授は数種のワインについて官能評価を行い、それぞれの違いに興味を示されていました。



島田学長(左)と白川名誉教授(右)

「県政トーク GO TO 知事が行く」後藤 斎 山梨県知事が来学  
工学部「地域産業リーダー養成教育プログラム」学生と対話

平成28年10月27日(木)、甲府キャンパスA2-12教室において、後藤 斎 山梨県知事が来学し、工学部学生と対話を行いました。これは、県民と知事が直接、県の現状や将来、県政全般について意見交換を行うイベント「県政トーク GO TO 知事が行く」の第7回企画として実施されたものです。山梨県からは後藤知事をはじめ、産業人材育成課長や企業立地・支援課長など、県の産業を支える各部署の課長が、本学からは工学部「地域産業リーダー特別教育プログラム」の学生12名が参加しました。

「地域産業リーダー特別教育プログラム」は、将来山梨県産業界のリーダーとして活躍しようという強い意欲と資質を持つ学生を対象に、本学・県・産業界が協力して、山梨県の将来を託しうる人材を育成する教育プログラムです。対話は「山梨大学生が描く本県産業の将来像について」をテーマに行われ、人口流出や企業誘致、観光政策、交通網など、県の抱える様々な課題について学生が質問すると、後藤知事は山梨の魅力や県の取組みを紹介しながら、県がしなければならないこと、山梨大学に期待することを、一人ひとりに丁寧に回答しました。また、「大学生に求めることはなんですか」という質問に対しては、「山梨がどうすればより良くなるか、創造的に考え、積極的に発言してほしい。斬新で尖った若い声をもっときかせてほしい」と力強く答えました。



質問に答える後藤知事



後藤知事と学生との記念撮影

やまなしMiraiリーダー「SHINGEN」養成セミナー&ワーク  
ショップが開講

平成28年11月16日(水)、山梨県立図書館において、やまなしMiraiリーダー「SHINGEN」養成セミナー&ワークショップを開催しました。これは、文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」とNPO法人大学コンソーシアムやまなし「県民コミュニティカレッジ事業」との共同事業で、地域の課題解決に資するリーダーの育成や新たな雇用創出に取り組むため、武田信玄公に準えて、山梨の新しい未来を築く21世紀の「SHINGEN」の養成を目指すものです。

第1回目の今回は、佐々木康浩氏(株式会社三菱総合研究所 経営コンサルティング事業本部主席研究員)より、具体的な調査に基づいて商品やサービスのターゲットとなるペルソナ(仮想人格)を関係者同士のワークショップで生成する「ペルソナ・マーケティング」についてご講演いただきました。佐々木氏は、この手法が業務の改善や収益増加につながった企業の例を挙げ、消費者の思考プロセスや深層心理などの特徴を解き明かすために、企業がターゲットとする象徴的なユーザー像を設定し、顧客を理解する道具として「ペルソナ・マーケティング」が利用されていることを説明しました。また、実際の現場での活用方法や課題等を分かりやすく解説し、参加した学生・企業関係者等は熱心に聞き入り、アンケート調査の具体例やワークショップの手法などを熱心に質問するなど有意義なセミナーとなりました。



講演する佐々木氏



セミナーの様子



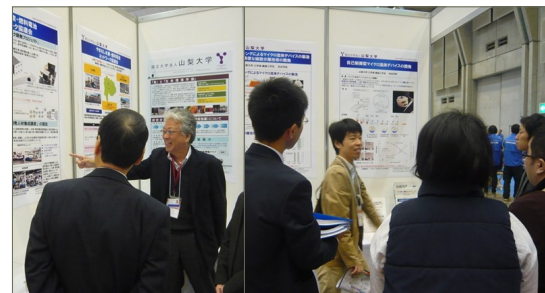
## 山梨大学特許最新情報

山梨大学が出願した最新特許情報につきましては、非公開の情報も含まれますので  
会員 以外には公開しておりません。

## 産学官連携 TOPICS

## 「やまなしテクノICTメッセ2016」に出展！

県内最大級の“ものづくりと情報通信”の展示会である「山梨テクノICTメッセ2016」が11月10日(木)～12日(土)にアイメッセ山梨にて開催され、山梨大学の技術シーズを紹介しました。ポスター展示では、機械工学系の3人の研究者の「マイクロ流体デバイス」(浮田芳昭助教)、「電気推進ロケット」(青柳潤一郎准教授)、「アディティブ・マニファクチャリング」(阿部壮志助教)およびやまなし水素・燃料電池ネットワーク協議会の「やまなしFCスタック開発プロジェクト」などの活動を紹介しました。11月12日(土)には浮田芳昭先生が「マイクロ流体デバイス」の応用例について、映像による分かり易い説明を行い多くの方々より注目されました。本イベントは新たなビジネスチャンス創出の機会とされ今年で38回目で、来場者数は10,000名以上と盛況でした。



岡先生の説明

浮田先生の説明

## 「ビジネスチャンス発掘セミナー」を共同開催！

平成28年11月11日(金)アイメッセ山梨4階大会議室において、初の取組みとして山梨中央銀行・山梨県機械電子工業会主催、本学共催にて「ものづくりビジネスチャンス発掘セミナー」を開催、企業等から約90名の参加を頂きました。本学は第2部において「山梨大学の技術シーズについて学ぶ」と題し、本学から還田統括コーディネータより「大学連携のメリット、ビジネスチャンスの可能性、共同研究事例」についての説明や大学の技術シーズの紹介として工学域の美濃教授より「センサーネットワークとその応用」、同工学域の渡辺准教授より「高品質なソフトウェア開発とソフトウェアツール」の解説および工学域研究者3名のパネル展示を行いました。参加者からは、本学との連携を希望する意見や研究内容を更に聞きたいとの希望も寄せられ、大変有意義な取り組みとなりました。



還田先生

美濃先生

渡辺先生

## 「新技術説明会」を開催！

平成28年12月13日(火)、JST東京本部別館ホールにおいて、「山梨大学 新技術説明会」を開催しました。(以下がイベントURL)この新技術説明会は、特許庁の後援の下、本学とJSTとの共同で主催し、研究成果である新技術(特許)を実用化させることを目的としています。当日は、本学の工学域の電気電子情報工学系の木下雄一郎准教授、小澤賢司教授、機械工学系から、船谷俊平助教、阿部壮志助教、そして、物質科学系から鈴木章泰教授の、5名による5件の新技術をベースとする本学の研究シーズを発表しました。JSTからの情報では、これまでの1つの発表の平均聴講者数56名に対し、本学開催では、平均聴講数が70名と、本学の研究シーズに対する関心の高さを実感できる結果となりました。単にイベントを開催して終了ではなく、本イベントをスタートとして、本学研究成果の社会への実装を推進して参ります。 イベントURL [https://shingi.jst.go.jp/list/yamanashi/2016\\_yamanashi.html](https://shingi.jst.go.jp/list/yamanashi/2016_yamanashi.html)



プレゼンする木下先生、阿部先生、鈴木先生(左から)

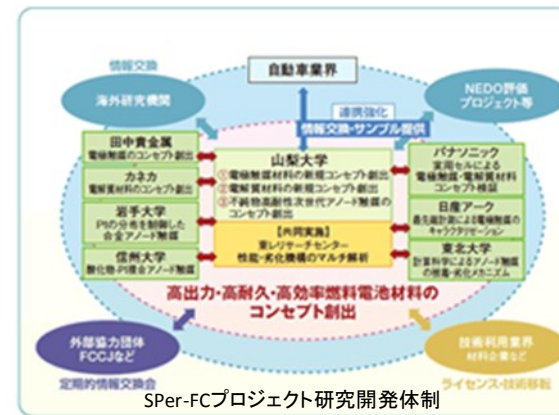
## コーディネータ による【研究者紹介】

## 燃料電池ナノ材料研究センター 教授 内田 誠 (うちだ まこと)

今回は、燃料電池ナノ材料研究センターの内田誠先生をご紹介致します。内田先生は本学大学院で応用化学を専攻されたのち、松下電器産業株式会社に入社されました。1999年に工学博士を取得され電池研究に従事されてきております。その後2008年に退職されて本学の「燃料電池ナノ材料研究センター・金属研究部門長」に就任されました。



内田誠先生



ご存じのように、幣学は2008年にNEDOの採択を受けて燃料電池とその微細構造解析等で研究をスタート(HiPer-FCプロジェクトと呼んでいます)しましたが、その時点からのご参加でして技術躍進に貢献されました。この7年間のプロジェクトを終了した後、新たに2015年から後継プロジェクト(SPer-FCプロジェクトと呼んでいます)がスタートしました。内田先生はこの一連のプロジェクトでのキーマンとしてご活躍をされ、特に電極研究と評価について高い知見がおります。また、常に企業目線もお忘れでなく産学連携にも貢献されております。ぜひ皆様も一度燃料電池や水素に関して意見交換をされてみては如何でしょうか。(記: 還田統括コーディネータ)

## 新技術情報クラブ イベントほか

## 第13回アカデミックサロンを開催しました！

第13回アカデミックサロンを平成28年10月7日(金)午後4時から甲府駅北口「CAFE 風土」にて開催しました。工学域機械工学系の野田善之(のだ よしゆき)准教授から「機械やロボットを効率的に動かす」のテーマで講演を戴きました。「振動を抑えるとは、揺れるものの固有振動数を把握し、共振現象が起らないように連動させること」のレクチャーの後、映像による制振事例があり興奮しました。さらに、機械やロボットの操作支援技術である「反力提示システム」、「低重心型並行二輪ビークル」の研究紹介がありました。これらの研究を始めたきっかけや失敗と対策の話もあり、楽しく聴かせて戴きました。今回も満員となり第2部も盛況で、主催側としては大変嬉しく思います。野田先生の研究室では、ご紹介した実物をご覧戴けるそうですので、皆さんお気軽にご連絡を下さい。



野田先生ご講演と質疑応答

## 第14回アカデミックサロンを開催しました！

第14回アカデミックサロンを平成28年12月8日(木)午後4時から甲府駅北口「CAFÉ 風土」にて開催しました。工学域土木環境工学系 武藤慎一(むとう しんいち)准教授から「山梨経済を活性化させる社会基盤の経済効果」のテーマで講演を戴きました。経済のテーマは今回が初めてです。内容は、交通基盤整備がもたらす経済効果を空間的応用一般均衡(SCGE)というモデルで分析するもので、その事例として中部横断自動車道(増穂IC-新清水IC)、リニア中央新幹線(品川-名古屋間)の分析結果を地域別の交通量変化、財価格・実質生産学変化および総生産の変化で説明して戴きました。いづれも山梨県には大きな影響をもたらすもので、新たな事業を展開することによりさらに大きな飛躍の可能性が生まれることが分りました。沢山の議論を有難うございました。



第2部 弁当とワインで歓談



武藤先生の講演を聴くご出席の皆さん

## クラブ会員企業様を訪問しています！

11月よりクラブ会員企業様へのご訪問を開始しております。事前に送付したご要望アンケートの回答やその後の電話のやり取りから詳細内容を決め訪問しております。現時点で、5企業様への訪問日程が決まり、2社のご訪問を終えました。私共としては、企業様の事務所や現場に伺って事業・製品サービス、夢や課題を聴かせて貰うことが貴重な情報収集と思っており、また励まされます。技術課題や研究の話だけでなく、企業様を取り巻くあらゆることを話題にしたいと思います。お忙しい中とは存じますが、是非訪問させて戴きたく、宜しくお願い申し上げます。



(有)エース開発 様 2016.12.06